

受講者名 _____ テスト日 _____

病院内のシナリオ：「病院または診療所で働いているあなたは、廊下で突然、人が倒れるのを目撃しました。現場が安全であることを確認してから、傷病者に近づきました。その次に何を行うかを示してください。」

病院搬送前のシナリオ：「あなたは心停止が疑われる傷病者のいる現場に到着しました。バイスタンダー（その場に居合わせた人）による CPR は行われていません。現場に近づき、安全を確認しました。その次に何を行うかを示してください。」

評価と通報

- 反応を確認する 大声で助けを呼ぶ／救急対応システムに出動を要請する／AED を持ってこさせる
- 呼吸を確認する 脈拍を確認する

受講者が助けを呼んだら、インストラクターは「ここに感染防護具があります。私は AED を取ってきます」と言う。

CPR サイクル 1 (30 : 2) *正確に行うためには、CPR フィードバック装置の使用が望ましい

成人に対する胸骨圧迫

- 質の高い胸骨圧迫を行う*：
- 胸骨の下半分の位置に手を置く
 - 15～18 秒間に 30 回の圧迫を行う
 - 少なくとも 5 cm 圧迫する
 - 圧迫を行うたびに胸壁が完全に元に戻るまで待つ

成人に対する人工呼吸

- 感染防護具を使用して人工呼吸を 2 回行う：
- 1 回の人工呼吸は 1 秒かけて行う
 - 1 回の人工呼吸ごとの目視可能な胸の上がりを確認する
 - 10 秒以内に胸骨圧迫を再開する

CPR サイクル 2 (サイクル 1 の手順を繰り返す) 各手順の実施が完了できた場合のみ、口をチェックする

- 胸骨圧迫 人工呼吸 10 秒以内に胸骨圧迫を再開する

救助者 2 が「AED を持ってきました。圧迫を替わりますから、あなたが AED を使ってください」と言う。

AED (AED の指示に従う)

- AED の電源を入れる パッドを正しく装着する 解析のため傷病者から離れる
- 電気ショックを安全に実施するため傷病者から離れる 電気ショックを安全に実施する

胸骨圧迫を再開する

- 電気ショックの実施後、直ちに胸骨圧迫を再開する
- 胸骨圧迫を再開するよう受講者がインストラクターに指示を出すまたは
 - 2 人目の受講者が胸骨圧迫を再開する

テスト終了

インストラクターメモ

- 受講者が正常に完了した手順に対応する口に✓を記入する。
- 受講者がすべての手順を正常に完了できなかった場合（つまり、チェックされていない口が残っている場合）、その受講者は補習を受ける必要がある。補習を必要とするスキルについて、ここにメモしておくこと（補習については、インストラクターマニュアルを参照）。

テスト結果 合格の場合は**合格**、補習が必要である場合は**要補習**を○で囲む。

合格

要補習

インストラクターのイニシャル _____ インストラクター番号 _____ 日付 _____